

科目名	手形小切手法	
担当者	河野 総史 / KAWANO, Soushi	
科目情報	法律 / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	手形法および小切手法の基礎知識を習得することを目的とする。手形小切手法は、商法の中でも最も理論的争いのある分野と言える。本講義では、通説及び判例を中心に理解を深める。
	到達目標	各種国家試験や、法科大学院入試に向け必要十分な知識を習得することを目標とする。
授業計画	(1) 講義ガイダンス (2) 約束手形の意義・原因関係と手形関係 (3) 手形の有効要件① (4) 手形の有効要件② (5) 他人による手形行為 (6) 無権代理と偽造 (7) 裏書① (8) 裏書② (9) 手形抗弁① (10) 手形抗弁② (11) 手形の支払・遡求・時効・利息償還請求権 (12) 手形保証・除権決定 (13) 白地手形① (14) 白地手形② (15) 為替手形・小切手・手形訴訟・小切手訴訟・総まとめ	
自学自習	事前学習	特に指示があった場合以外は、予習は不要。
	事後学習	授業の復習をしっかりと行い、次回の小テストに備えること。
使用教材・参考文献	【教】 弥永真生「リーガルマインド手形法・小切手法」第2版補訂2版(有斐閣) 【参】 講義中に指示する。六法は必ず持参すること。	
成績評価方法と基準	・ 期末テスト80%、小テスト20%とし、全体で60%以上を合格とする。 ・ 小テストは3講目以降、前回の講義内容から出題する。 ・ 別途、任意でレポートを提出してもらい、20点を上限として加点する。	
備考		